

公表: 令和 4年 2月 10日

(回答: 5名/5名中)

事業所名: ゆらリズム南光台教室(1号店)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者想定10名である場合、スペースが足りない。歩行に障害のある利用者もいるので、随時声掛け導線の確保をしている。 ・不穩になった場合等の対応として室内の隅で対応する。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多い場合、個別で見守りをするケースがある。その場合スタッフの動きが制限されてしまうので、基本フリーで動くスタッフは全体への対応を強化しなければ、安全性の確保が難しい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレは障害者専用ではない。工夫している点としては、安全な導線の確保、習慣づけを共有している。 ・現在の利用者には対象は少ないが出入口やトイレについての工夫は考えたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適時行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入社間もないため、まだ確認する機会がない。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方を確認します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価があった際は即改善している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたことはない。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・主活動でニーズを果たせない場合があるため、活動前等の時間をニーズに合わせた活動を取り入れるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールの「標準化」の定義がわからない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを通して立案、共有を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・進行者を日替わりで担当制にして、担当者別のプログラムが実施できている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特性も考慮してプログラムの組み立てをしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本集団行動が多いが、状況に応じて個別活動も導入している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・祝日の際、打ち合わせが不十分な場合があるが、大体が実践できている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	・ミーティングの際は一人一人所感を残すようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・業務内容に応じてスタッフ全員が対応できるようにしている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・適時口頭で伝える、案内のメールをおくりスケジュールリングをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	4	0	・ガイドライン総則を拝見したことがない。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	・問題はないと思われる。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	・各学校に通信や月の予定を配布している。 ・連絡ツールを用いて適時共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	0	・医療的ケアの必要な利用者とは適時、母親と連絡を取っている。 ・アセスメントシートの見直しと更新。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	・特定の利用者に関してではあるが頻繁なやり取りを聞いている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	0	・卒業生を対応するまで、まだ勤務していない。 ・卒業生に、対する事業所での支援内容、経過報告等を作成し移行する際に提出する事を目標とする
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	・特定の利用者に関してやり取りができています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	・そのような体験談は聞いたことがない。 ・感染症。予防のため控える必要がある
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	0	・どの活動が該当するのかわからない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・連絡ツール、口頭など機会を利用してコミュニケーションをとっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	0	・そのような話は聞いたことがない。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	・問題ないと思われる。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・モニタリング結果から必要な支援を行っている。

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	1	・関与していないと思われる。 ・感染症予防のため控える必要がある。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	・まだ苦情に対応した経験がない。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・連絡ツールを使い配信している。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・資料等は鍵のかかる場所に保管している。
	㉔	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・相手のペースで会話を進める。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	・イベントシーズンを利用して実施している。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	0	・随時作成、更新している。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・適時避難訓練を実施している。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	1	・実施したという話は聞いたことがない。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	1	
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	0	・対象の利用者とも確認している。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	1	・今後必要かと感じる。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。